

平成 28 年度事業計画書（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

当財団の目的は、「民族学・文化人類学等の振興を図るため、国立民族学博物館等関係諸機関と連携しその普及に努める。それらの活動を通して人類の多様な社会や文化に対する市民の理解と教養を培い、社会の発展に寄与する。」と定められ、その目的を達成するための各種事業を推進し、また多様な文化振興や次世代育成等さまざまな社会貢献活動に取り組んでいる。

1. 民族学・文化人類学等普及事業

一般市民を対象に、民族学・文化人類学の普及のため、国内唯一の民族学・文化人類学の研究センターである国立民族学博物館の協力のもと、学術情報をわかりやすく提供する各種事業を企画・実施する。

1) 国立民族学博物館収蔵資料「梅棹忠夫アーカイブズ」の整理及びデータの整備への協力

膨大な梅棹忠夫アーカイブズ資料を整理し総合的に関連付けた基礎データを作成。この基礎データは、研究者による内容把握や相互関連などの研究に資するとともに、最終的には、日本の民族学研究史、探検史、梅棹忠夫の学問体系の成立過程の解明などに関する研究者の分析結果を動的に反映できる、参加型・成長型の梅棹忠夫デジタルアーカイブズ構築の基本情報となるものである。

2) 民族学・文化人類学の研究促進・普及を目的とした図書の企画・編集・発行

家庭学術雑誌『季刊民族学』4号（156号～159号）の編集、発行及び集広をおこなう。

平成28年度『季刊民族学』：

環境問題や災害、地域紛争、さらに急速に進む高齢化など、われわれをとりまく社会状況が深刻さをますなか、それら諸問題に対し、民族学を中心とする関連諸科学の視点からの理解を目指す。地域創生が標榜される昨今の状況を鑑み、地域文化の紹介と地域連携を模索する。

3) 国立民族学博物館、及び民族学・文化人類学の普及を目的とした各種講演会及びセミナー等の企画・運営

国立民族学博物館の特別展・新構築フォーラムなど様々な取り組みを紹介するとともに、懇談会での質疑応答の時間を設け、研究者と受講者の交流を深める機会を提供する。

①国立民族学博物館友の会講演会

開催日時：毎月第1土曜日、13：30～15：30（見学会もしくは懇談会等を含む）

会場：国立民族学博物館

通算回数（開催日）：講師(所属) / 「演題」

第453回 4月2日（土）[特別展「夷酋列像」関連]

アイヌの衣服から見えてきたこと 吉本 忍（民博名誉教授）

第454回 5月7日（土）[第87回民族学研修の旅関連]

国境の地に生きる－フィンランド・カレリアとエストニア・セトゥの人びと

庄司 博史（民博名誉教授）

- 第 455 回 6 月 4 日 (土) [現代中東地域研究推進事業拠点設置関連]
 シンドバード航海記の成立の謎を追って—中東地域の民衆文化研究への新視点
 西尾 哲夫 (民博教授)
- 第 456 回 7 月 2 日 (土) [新中央・北アジア展示関連]
 中央アジアのイスラーム—ある家族の物語から 藤本 透子 (民博助教)
- 第 457 回 8 月 6 日 (土)
 フィリピンから海外に向かう人びと—日本と韓国の事例を中心に
 永田 貴聖 (民博機関研究員)
- 第 458 回 9 月 3 日 (土) [第 88 回民族学研修の旅関連]
 ネパール映像取材がつなぐもの—30 年の時を経て (仮) 南 真木人 (民博准教授)
- 第 459 回 10 月 1 日 (土) [秋季特別展関連]
 鵜飼 正樹 (京都文教大学教授)
- 第 460 回 11 月 5 日 (土) [現代中東地域研究推進事業拠点設置関連]
 エジプトの空手道の新地平—ライフスタイルとしてのスポーツの試み (仮)
 相島 葉月 (民博准教授)
- 第 461 回 12 月 3 日 (土)
 インドの女性とリプロダクション—出産をめぐる信仰と実践 (仮)
 松尾 瑞穂 (民博准教授)
- 第 462 回 平成 29 年 1 月 7 日 (土) [新アイヌの文化展示関連]
 アイヌ文化のいま (仮) 齋藤 玲子 (民博准教授)
- 第 463 回 平成 29 年 2 月 4 日 (土) [現代中東地域研究拠点設置関連]
 中東の博物学と幻獣 (仮) 山中 由里子 (民博准教授)
- 第 464 回 平成 29 年 3 月 4 日 (土)
 パキスタン北部の“異教徒” カラーシャ人—その宗教・文化・言語 (仮) 吉岡 乾 (民博助教)

東京 他 : 13 : 30 ~ 15 : 30 (懇談会等を含む)

- 第 115 回 4 月 23 日 (土) [第 87 回民族学研修の旅関連]
 国境の地に生きる—フィンランド・カレリアとエストニア・セトゥの人びと
 庄司 博史 (民博名誉教授) 会場 : モンベル渋谷店 5F サロン
- 第 116 回 平成 29 年 1 月 9 日 (月・祝)
 [新アイヌの文化展示関連] アイヌ文化のいま (仮)
 齋藤 玲子 (民博助教) 会場 : アイヌ文化交流センター
- 第 117 回 平成 29 年 2 月 25 日 (土)
 [現代中東地域研究拠点設置関連] シンドバード航海記の成立の謎を追って—中東地域の民衆
 文化研究への新視点 (仮)
 西尾 哲夫 (民博教授) 会場 : モンベル渋谷店 5F サロン (予定)

②国立民族学博物館友の会みんぱく見学会

大阪：土曜日 14：40～15：30、国立民族学博物館展示場で開催

通算回数（開催日）：「展示名」 / 講師(所属)

第 63 回（7 月 2 日）：特別展「夷酋列像」 / 吉本 忍（民博名誉教授）

第 64 回（6 月 4 日）：新中央・北アジア展示 / 藤本 透子（民博助教）

第 65 回（10 月 1 日）：秋季特別展「見世物大博覧会」 / 未定

第 66 回（平成 29 年 1 月 7 日）：新アイヌ展示 / 齋藤 玲子（民博准教授）

③国立民族学博物館友の会体験セミナー

通算回数（開催日）： 講師(所属) / 開催地 / 「演題」 / 内容

第 72 回（7 月 14 日～15 日：2 日間）

「長良川鵜飼漁見学—鳥と語り、川とともに生きる」

講師：卯田 宗平（民博准教授） 訪問先：岐阜県

第 73 回（秋頃予定）未定

第 74 回（12 月 10 日～11 日）

「長野県霜月祭り見学（仮）」

講師：櫻井 弘人（飯田市美術博物館学芸員）、吉田 憲司（民博教授） 訪問先：長野県

④国立民族学博物館友の会民族学研修の旅

第 87 回（8 月 1 日～9 日：9 日間）

「フィンランドとエストニアの原風景に出会う—森の恵みと唄を愛する人びとを訪ねて」

講師：庄司 博史（民博名誉教授） 訪問先：フィンランド、エストニア

フィンランドの北カレリア地方とエストニアのセトゥ地方はともにロシアと隣接し、その境界がたびたび変遷したことに由来して、独特の民俗文化を有する。主要都市とともに二つの地域を訪ね、両国の民俗文化、歴史的変遷を考える。セトゥ王国祭や野外博物館の見学をとおして、民族意識の基盤となる「唄と木の文化」についても着目する。

第 88 回（平成 29 年 2 月頃予定）

「映像取材とともにさぐるネパールの 30 年（仮）」

講師：南 真木人（民博准教授） 訪問先：ネパール

2014 年、ネパールを取材した映像取材が公開された。いずれも 1982 年に館内研究者（藤井知昭元・民博教授）が取材した地域を、2013 年に南真木人准教授が訪ね、30 年の変化を比較した内容となっている。民博が映像取材先を訪問すると同時に、自然・生活環境の異なる多民族国家ネパールの多様性をさぐる。併せて昨年の地震からの復興への過程にも着目する。

⑤国立民族学博物館友の会午餐会※国立民族学博物館維持会員対象

時事的なテーマを取り上げ、国際情勢を文化人類学の視点で読み解く。

⑥外部広報事業

・カレッジシアター「地球探究紀行」

主催：産経新聞社、共催：近鉄文化サロン、スペース9／特別協力：民博、千里文化財団

開催期間：4月～平成29年3月（第2、4水曜日／13時～14時半）

上半期：8月をのぞく4月～9月 全10回実施。

登壇者（敬称略／順不同）：飯田、上羽、岸上、西尾、池谷、吉田、朝倉、宇田川

下半期：12月をのぞく10月～平成29年3月 全10回実施。

・連続講座「素顔の地球に出会うー人類学者たちのフィールドワーク」

主催：千里文化財団 各回13：30～15：30

『フィールドワーク選書』（臨川書店）全20巻完結に連動し研究成果の背景にあるフィールドでのアプローチに着目する。講義とあわせ、現場で使用する調査道具も公開する。

6月11日（土）「南太平洋のサンゴ島を掘るー女性考古学者の謎解き」

講師：印東 道子（民博教授）

9月10日（土）「人間にとってスイカとは何かーカラハリ狩猟民と考える」

講師：池谷 和信（民博教授）

11月12日（土）「シベリアで生命の暖かさを感じる」

講師：佐々木 史郎（民博教授）

・ブックフェア&トークイベント

『フィールドワーク選書』（臨川書店）全20巻完結に連動し、図録や研究報告等、みんぱくの関連書籍やグッズ等も紹介する。期間中には執筆者によるトークイベントも開催する。

□ジュンク堂書店大阪本店

ブックフェア：5月9日（月）～7月10日（日）

トークイベント：5月20日（金）19時より1時間程度

登壇者：編集委員3名、印東 道子（民博教授）×白川 千尋（阪大准教授）×
関 雄二（民博教授）

□三省堂書店神保町本店

ブックフェア：7月20日（水）～8月31日（水）

トークイベント：8月7日（日）14時より1時間程度

登壇者：平井京之介（民博教授）

2. 国立民族学博物館利用促進事業

国立民族学博物館の利用の促進を目的として、一般市民を対象に、各種協力事業を実施することにより利用者の便宜を図る。

1) 国立民族学博物館の展示理解向上及び普及のための教材制作事業

国立民族学博物館 本館展示の『展示ガイド』、
特別展及び企画展の解説書の編集・制作（受託事業）

2) 国立民族学博物館の展示理解向上のための教材頒布、及び広報普及事業としてのミュージアム・ショップの運営事業

- ①国立民族学博物館 本館展示の『展示ガイド』、特別展及び企画展の解説書、
『月刊みんぱく』、『研究報告』、『民博通信』等民博刊行物の頒布
- ②国立民族学博物館の映像資料の複製発行及び頒布
- ③国立民族学博物館オリジナルグッズの開発・販売
展示品のレプリカ、カレンダー、ポストカード、Tシャツ、クッキー、クリアファイル、
スタンプ、トートバッグ、ステッカー、鉛筆、ノートブック、レターセット等
- ④現地産民族資料及び民族学・文化人類学関連図書の頒布

平成28年度ミュージアム・ショップ事業計画(案)

- ・本館展示に関連したオリジナル商品の開発拡充と通販サイトへの掲載：
- ・新たな商品アイテムによるオリジナル商品の開発
- ・展示場のパネル類をモチーフにしたクリアファイルの制作
- ・巡回展での販売と連動した従来オリジナル商品の拡充再生産
- ・秋の特別展「見世物大博覧会」にあわせたオリジナル商品の開発
- ・館外での販売： ジュンク堂書店大阪本店（5/9～7/10）
阪急百貨店梅田本店9F（5/25～30）
三省堂書店神保町本店（7/20～8/31）
巡回展（10/8～11/27）他

3) 国立民族学博物館の普及事業

- ①「国立民族学博物館友の会」の運営
- ②「国立民族学博物館友の会」会員の増強
- ③ 国立民族学博物館キャンパスメンバーズの運営
- ④ 国立民族学博物館広報誌『月刊みんぱく』の編集協力・制作及び編集事務（受託事業）

4) 国立民族学博物館来館者の学習支援事業

- ①「展示解説シート」の編集協力・制作（受託事業）
- ② 展示案内学習支援等業務を受託し実施（受託事業）
- ③ 研究資料整理・情報化及び利用管理業務を受託し実施（受託事業）
- ④ 民族学資料共同利用窓口業務を受託し実施（受託事業）
- ⑤ 関連催し物の開催支援及び運営事業（受託事業）

5) 国立民族学博物館活動に協力する事業

国立民族学博物館特別展「夷酋列像」、特別展「見世物大博覧会」及び企画展に対する協力として各種広報活動をおこなう。

3.博物館活動支援及び調査研究事業

博物館に集積された知的財産を活用するプログラムを企画し、そのあり方を調査研究するとともに博物館活動を支援する。

1) 博物館に集積された資料と情報の活用方法及び博物館等の連携のあり方に関する調査研究

- ① 出前授業プログラム開発及び普及
- ② 各地の博物館等の施設を活用する巡回展

国立民族学博物館収蔵資料からなる巡回展を地方で開催することで、国際的にも価値の高い民族学的資料を有効に活用するとともに、多様性と共通性を知ってもらい、異文化理解について考えてもらうことを目的としている。

国立民族学博物館巡回展 香川県立ミュージアム 瀬戸内国際芸術祭2016連携事業
特別展「イメージの力 国立民族学博物館コレクションにさぐる」

会 期：10月8日（土）～11月27日（日）（開館44日、うち夜間開館12日）

主 催：香川県立ミュージアム 国立民族学博物館 千里文化財団

企 画：国立民族学博物館、国立新美術館、日本文化人類学会

関連講演会：10月8日（土）「イメージの力（仮）」吉田憲司教授

2) 博物館運営や展示のあり方に関する調査研究

- ① 指定管理者制度における博物館運営に関する調査研究
- ② 巡回展のための什器に関する調査
- ③ 博物館におけるミュージアム・ショップの役割に関する調査研究

3) 各地の博物館展示案内等の編集業務

『九州歴史資料館展示案内』（日本生命財団より受託。2017年2月完成予定）

4.文化振興協力事業

多様な文化の振興をめざし、各種文化活動に協力する。

1) 「松下幸之助花の万博記念賞」選考に関する業務（松下幸之助記念財団より受託）

第25回「松下幸之助花の万博記念賞」選考に関する業務を受託し実施する。

「松下幸之助花の万博記念賞」：「自然と人間の共生」という花の万博の基本理念の実現に貢献する、すぐれた学術研究や実践活動を顕彰している。

2) 日本展示学会の事務業務

「日本展示学会」の事務業務を受託し実施する。

「日本展示学会」：展示に関する研究を、技術論だけでなく、社会的・文化的な観点からもひろく研究することを目的とした学会。

1982年に、国立民族学博物館において設立された。

3) 同人雑誌『千里眼』の編集・発行

第134号～第137号の4号の編集を受託し発行する。

『千里眼』：千里地域に居住あるいは仕事場をもつ知識人による同人雑誌。

平成28年度収支予算書（正味財産増減計算書）

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：円）

	予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	50,000	50,000	0
基本財産受取利息	50,000	50,000	0
受取会費	43,050,000	48,150,000	△ 5,100,000
維持会員	14,500,000	16,000,000	△ 1,500,000
正会員	25,000,000	28,600,000	△ 3,600,000
家族会員	300,000	300,000	0
キャンパスメンバーズ*	2,500,000	2,500,000	0
フリーパス会員	750,000	750,000	0
事業収益	252,890,000	274,790,000	△ 21,900,000
事業収益	52,290,000	72,500,000	△ 20,210,000
受託事業収益	200,000,000	201,690,000	△ 1,690,000
広告収益	600,000	600,000	0
受取補助金等	4,000,000	7,000,000	△ 3,000,000
受取助成金	4,000,000	7,000,000	△ 3,000,000
雑収益	10,000	10,000	0
受取利息	10,000	10,000	0
経常収益計	300,000,000	330,000,000	△ 30,000,000
(2) 経常費用			
事業費	267,260,000	292,830,000	△ 25,570,000
給料手当	120,800,000	121,879,000	△ 1,079,000
臨時雇賃金	18,480,000	18,771,000	△ 291,000
退職手当	10,000,000	10,000,000	0
法定福利費	21,470,000	21,500,000	△ 30,000
福利厚生費	1,200,000	1,200,000	0
旅費交通費	5,550,000	6,050,000	△ 500,000
通信運搬費	9,955,000	10,300,000	△ 345,000
減価償却費	0	0	0
事務委託料	1,500,000	4,500,000	△ 3,000,000
印刷製本費	15,600,000	20,850,000	△ 5,250,000
諸謝金	1,675,000	2,050,000	△ 375,000
会議費	570,000	650,000	△ 80,000
光熱水費	450,000	200,000	250,000

	予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A-B)
消耗品費	810,000	810,000	0
負担金	12,100,000	13,100,000	△ 1,000,000
原稿写真委託報酬	9,650,000	9,950,000	△ 300,000
支払手数料	800,000	800,000	0
賃借料	2,200,000	920,000	1,280,000
修繕費	100,000	100,000	0
著作権等使用料	100,000	100,000	0
教材等制作購入費	34,000,000	48,850,000	△ 14,850,000
教材出版物等棚卸差額	0	0	0
館内サービス関係費	250,000	250,000	0
管理費	30,390,000	33,620,000	△ 3,230,000
給料手当	14,700,000	17,100,000	△ 2,400,000
臨時雇賃金	200,000	200,000	0
退職手当	4,700,000	3,800,000	900,000
法定福利費	2,300,000	2,600,000	△ 300,000
福利厚生費	210,000	210,000	0
旅費交通費	200,000	200,000	0
通信運搬費	450,000	450,000	0
印刷製本費	550,000	550,000	0
諸謝金	2,280,000	1,050,000	1,230,000
会議費	380,000	380,000	0
光熱水費	220,000	480,000	△ 260,000
消耗品費	700,000	700,000	0
負担金	250,000	250,000	0
原稿写真委託報酬	300,000	300,000	0
支払手数料	350,000	350,000	0
賃借料	2,400,000	4,800,000	△ 2,400,000
修繕費	200,000	200,000	0
経常費用計	297,650,000	326,450,000	△ 28,800,000
当期経常増減額	2,350,000	3,550,000	△ 1,200,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,350,000	3,550,000	△ 1,200,000
一般正味財産期首残高	13,755,796	10,205,796	3,550,000
一般正味財産期末残高	16,105,796	13,755,796	2,350,000
II 正味財産期末残高	16,105,796	13,755,796	2,350,000

収支予算の事業別区分経理の内訳表
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計				法人会計	合計
	民族学・文化人類学の普及及び国立民族学博物館等の利用促進事業及び博物館活動支援・調査研究事業	文化振興協力事業	共通	小計		
	継続 1	継続 2				
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1)経常収益						
基本財産運用益	0	0		0	50,000	50,000
基本財産受取利息					50,000	50,000
受取会費	0	0		0	43,050,000	43,050,000
維持会員					14,500,000	16,000,000
正会員					25,000,000	28,600,000
家族会員					300,000	300,000
ヤパルメンバーズ					2,500,000	2,500,000
アパース会員					750,000	750,000
事業収益	247,490,000	5,400,000		252,890,000	0	252,890,000
事業収益	54,200,000	0		54,200,000	0	54,200,000
受託事業収益	192,690,000	5,400,000		198,090,000	0	198,090,000
広告収益	600,000	0		600,000	0	600,000
受取補助金等	4,000,000	0		4,000,000	0	4,000,000
受取助成金	4,000,000	0		4,000,000	0	4,000,000
雑収益	0	0		0	10,000	10,000
受取利息					0	10,000
経常収益計	251,490,000	5,400,000		256,890,000	43,110,000	300,000,000
(2)経常費用						0
事業費	261,790,000	5,470,000		267,260,000	0	267,260,000
給料手当	117,390,000	3,410,000		120,800,000	0	120,800,000
臨時雇賃金	18,480,000	0		18,480,000	0	18,480,000
退職手当	10,000,000	0		10,000,000	0	10,000,000
法定福利費	20,980,000	490,000		21,470,000	0	21,470,000
福利厚生費	1,200,000	0		1,200,000	0	1,200,000
旅費交通費	5,510,000	40,000		5,550,000	0	5,550,000
通信運搬費	9,685,000	270,000		9,955,000	0	9,955,000
減価償却費	0	0		0	0	0
事務委託料	1,500,000	0		1,500,000	0	1,500,000
印刷製本費	14,650,000	950,000		15,600,000	0	15,600,000
諸謝金	1,675,000	0		1,675,000	0	1,675,000
会議費	330,000	240,000		570,000	0	570,000
光熱水費	450,000	0		450,000	0	450,000
消耗品費	740,000	70,000		810,000	0	810,000
負担金	12,100,000	0		12,100,000	0	12,100,000
原稿写真委託報酬	9,650,000	0		9,650,000	0	9,650,000
支払手数料	800,000	0		800,000	0	800,000
賃借料	2,200,000	0		2,200,000	0	2,200,000
修繕費	100,000	0		100,000	0	100,000
著作権等使用料	100,000	0		100,000	0	100,000
教材等制作購入費	34,000,000	0		34,000,000	0	34,000,000
教材出版物等棚卸差額	0	0		0	0	0
館内サービス関係費	250,000	0		250,000	0	250,000
管理費				0	30,390,000	30,390,000
給料手当					14,700,000	14,700,000
臨時雇賃金					200,000	200,000
退職手当					4,700,000	4,700,000
法定福利費					2,300,000	2,300,000
福利厚生費					210,000	210,000
旅費交通費					200,000	200,000
通信運搬費					450,000	450,000
印刷製本費					550,000	550,000
諸謝金					2,280,000	2,280,000
会議費					380,000	380,000
光熱水費					220,000	220,000
消耗品費					700,000	700,000
負担金					250,000	250,000
原稿写真委託報酬					300,000	300,000
支払手数料					350,000	350,000
賃借料					2,400,000	2,400,000
修繕費					200,000	200,000
経常費用計	261,790,000	5,470,000	0	267,260,000	30,390,000	297,650,000
当期経常増減額	△ 10,300,000	△ 70,000	0	△ 10,370,000	12,720,000	2,350,000
						0
2. 経常外増減の部						0
(1)経常外収益						0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,300,000	△ 70,000	0	△ 10,370,000	12,720,000	2,350,000
一般正味財産期首残高						13,755,796
一般正味財産期末残高						16,105,796
II 正味財産期末残高						16,105,796